

授業改善書

科目名	教育相談の理論と方法
担当者	大島 富恵

授業の概要

- ・ 保育所、幼稚園、小学校においては、あらゆる機会を捉え、あらゆる教育活動のなかで、教育相談的な配慮が必要となる。そのために、カウンセリングの基礎を理解し、実践に活かせるよう演習を通して学びを深める。
- ・ また、実際に遭遇するであろう主な相談内容について、それらの行動の背景等の理解をすると共に、保育士、教員として、その専門性を生かし、どのように対応していくかを考える。

授業の問題点

- ・ 本時の目標を毎回明示し、最後に目標が達成できたか振り返るようにしたが、十分な時間をとることが難しかった。また、次回の内容についても提示して、興味関心を持って授業に臨めるようにした
- ・ 復習や予習の課題を設定することもあったが、取り組みはあまり芳しくなかった。
- ・ 毎回、パワーポイント資料を使用したがる、プロジェクターや照明の調節、資料の文字の量や大きさなど、配慮が不十分であった。
- ・ 配布資料に、パワーポイント画面の文字を書き写す必要がある場面では、書写のスピードに個人差が大きく、進行が早過ぎると感じた学生も少なくなかったようである。

学生の授業満足度

- ・ 授業の内容については、概ね興味や関心を持って参加し、得るところがあったと評価されている。
- ・ 講義だけでなく、演習やグループでの話し合いも有意義であったようである。しかし、そうした学生同士のワークが、やりっ放しで終わってしまい、それらに対して講師が評価したりコメントしたりできなかったため、上手く消化できなかった学生もいたようである。
- ・ 講師からの質問に対しては、指名されれば回答するが、自発的に発言する学生の数は少なく、積極的な発言が歓迎される風土を醸成する必要を感じた。

授業改善の課題と方策

- ・ 配布資料に自分で記入する量を調節して、学生間の記入時間に大きな差が出ないようにする。資料をきちんとファイルすることで、ノートとなるようにする。
- ・ グループワーク等の実施に際しては、事前にその狙いを確認し、事後の発表や評価にも十分な時間を確保する。
- ・ 復習や予習課題の発表をする時間を確保するなど、学生の発言の機会を、多く設定したい。
- ・ 学生の関心をより高めるために、動画の活用等も検討したい。

その他